

銅・バチルス ズブチリス水和剤 クリーンカップ	取扱メーカー： クミカ 原体メーカー： —, クミカ
成分： 水酸化第二銅〔銅〕……………50.0% (銅として32.6%) バチルス ズブチリス D747株の生芽胞……2.0×10 ¹⁰ cfu/g	性状： 淡青緑色水和性粉末 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- エコショット, コサイド3000の項参照。
- 野菜類のうどんこ病, 灰色かび病に有効である。
- トマト・ミニトマトの葉かび病, すすかび病, 疫病, きゅうりのべと病, 褐斑病にも有効である。
- 微生物農薬と水酸化第二銅の混合剤なので「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」で農薬使用成分数にカウントされない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 予防的効果が主体なので, 発病前～発病初期に7日～10日間隔で散布する。
- 低温条件では有効成分(微生物)の活動が低下し効果が出にくいので, 10℃以上が確保できる条件で使用する。
- 発病後の散布には, 治療効果を有する薬剤と体系で使用する。
- 炭酸カルシウム水和剤の加用が葉害軽減に有効であるが, 収穫間際の使用は汚れを生じるので留意する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 有効成分の一つは生菌であるので, 散布液調製後はできるだけ速やかに散布する。また, 開封後は密封して保管し, できるだけ早く使いきる。
- 他剤との混用は効果が劣る場合があるので注意する。
- にんにくに使用する場合葉害を生じることがあるので, 炭酸カルシウム水和剤を加用することが望ましい。

●いんげんまめに使用する場合, 幼苗期および高温時の散布は葉害を生じるおそれがあるので使用はさける。

●きゅうり, はくさい, キャベツ, だいこんに対しては葉害を生じやすいので, 次の事項に十分注意する。

○幼苗期は特に葉害を生じやすいので, 中期以降に散布する。

○高温時には症状が激しくなるので散布はさける。

○きゅうり場合は連続散布すると葉の周辺が黄化したり, 硬化することがあるので過度の連用はさける。

○はくさい, キャベツ, だいこんに使用する場合は, 葉害軽減のために炭酸カルシウム水和剤を加用する。なお, 収穫前には汚れを生じるので, 留意する。

●アスパラガスに使用する場合, 葉害を生じるおそれがあるので, 必ず炭酸カルシウム水和剤を加用する。

●共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

●蚕に対して影響があるので, 周辺の桑葉にかからないようにする。

●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



